

- 問1 山地が海に沈んだり、海面が上昇したりすることで、もとの起伏が激しい山や谷の地形が水没して形成された、出入りが複雑な鋸歯状（のこぎりの歯のような形）の海岸を何と呼びますか。（2017年 静岡県公立入試 類似）
1. カルスト地形 2. リアス海岸 3. 砂浜海岸 4. 扇状地
- 問2 地形図上で周囲よりも一段高くなっている「台地」と呼ばれる場所の土地利用を調査したところ、水田ではなく畑や果樹園、あるいは住宅地として利用されている様子が多く確認できました。このように、台地において水田の開発が困難であった地形的な理由は、どのような点にありますか。（2024年 香川県公立入試 類似）
1. 日当たりが非常に悪く、稲の成長に必要な日照時間を十分に確保することができなかったから。 2. 周囲の平地よりも標高が高いため、河川などの水源から水を引き上げることが難しかったから。 3. 土地が非常に軟弱であり、水田を支えるための大規模な土木工事が不可能だったから。 4. 台地の upper 部分は年間を通じて霧が発生しやすく、農作物が冷害を受けやすかったから。
- 問3 海岸付近で地震に遭遇した際、避難の方向や場所を判断する基準について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 福岡県公立入試 類似）
1. 津波は必ず引き波から始まるとされているため、海水が引き始めるまでは海岸付近で様子を見る 2. 海岸線に沿って並行に移動し、できるだけ早く隣の市町村にある公共施設を目指す 3. 海から離れる内陸方向へ移動し、かつ、津波が到達しないような標高の高い場所を目的地とする 4. 津波の浸水を避けるため、距離の遠近に関わらず、地図上で最も北に位置する場所へ移動する
- 問4 山陰海岸ジオパークの岩美町付近に見られるような、山地が海に沈んだり海面が上昇したりすることで形成された、複雑に屈曲した海岸線を何と呼びますか。（2023年 鳥取県公立入試 類似）
1. リアス海岸 2. フィヨルド 3. 砂浜海岸 4. 海岸段丘
- 問5 長野盆地などの「中央高地の気候」や、中国山地と四国山地に挟まれた「瀬戸内の気候」に見られる共通の降水量の特徴について、地形と季節風の関係から説明したものとして正しいものはどれですか。（2017年 秋田県公立入試 類似）
1. 広大な平野部が広がっているため、季節風が通り抜けやすく、上昇気流が発生しないことから年間を通じて降水量が少ない 2. 一年中安定した高気圧に覆われる地形であるため、季節風の影響をほとんど受けず、年間を通じて降水量が少ない 3. 夏と冬の季節風がそれぞれ手前の山脈に遮られ、水分を落とした後の乾燥した空気が流れ込むため、年間を通じて降水量が少ない 4. 寒流の影響を強く受ける地域であり、海面からの水蒸気の供給が不足するため、年間を通じて降水量が少ない
- 問6 山地から平地や盆地へ川が流れ出る場所で見られる、川の流れが緩やかになることで運搬された土砂が堆積して形成された扇形の地形を何といいますか。（2021年 新潟県公立入試 類似）
1. 三角州 2. 台地 3. 扇状地 4. 氾濫原
- 問7 新潟県長岡市のように、12月や1月といった冬の時期に降水（降雪）量が突出して多くなる「日本海側の気候」において、冬に多くの降水をもたらす主な要因は何ですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）
1. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った風が、直接吹き込むため。 2. 夏に発生した台風が日本海側に停滞し、冬まで湿った空気を供給し続けるため。 3. 南東の季節風が山脈を越える際にフェーン現象を引き起こし、雲を発生させるため。 4. 北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかって上昇するため。
- 問8 日本の地形に関する学習レポートにおいて、火山活動によって地下のマグマが地上へ噴出した後、地下の空洞が重みに耐えきれず崩落・陥没することで形成された、大規模な鉢状のくぼ地を指す名称として適切なものはどれか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
1. カルデラ 2. 三角州 3. 扇状地 4. シラス台地
- 問9 ある都市の気候統計において、年平均気温が15.1℃、年降水量が1895.7mmであり、月別の降水量を確認すると、12月、1月、2月の数値が他の月と比較して突出して多いという特徴が見られました。このような気候がみられる日本の都市として、最も適切なものを選びなさい。（2017年 和歌山県公立入試 類似）
1. 鳥取県の日本海側に位置し、冬の季節風の影響を強く受ける境港市 2. 北海道東部の太平洋側に位置し、夏に濃霧が発生しやすい釧路市 3. 千葉県東部の太平洋側に位置し、黒潮の影響で冬も温暖な銚子市 4. 鹿児島県の南端に位置し、夏の降水量が非常に多い枕崎市
- 問10 日本の国土は山地や丘陵地が大部分を占めているという特徴があります。このような地形的条件が、日本の人々の生活や土地利用に与えている影響として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 山形県公立入試 類似）
1. 国土の大部分が平坦であるため、全国どこでも大規模な機械化農業を行うことが可能である。 2. 山地が非常に少ないため、森林資源が乏しく、住宅建築には主に石材が利用されてきた。 3. 河川の傾斜が全体的に緩やかになるため、水害の恐れが少なく、広大な農地が形成されやすい。 4. 居住地や農耕に適した平地が限られているため、平野部や盆地に人口や都市が集中しやすい。
- 問11 日本の3つの都市（仙台市、松本市、岡山市）の気象データを比較した資料において、夏が比較的涼しく、降水量が中程度であるという特徴を持つのが仙台市です。仙台市を含む東北地方の太平洋側で、初夏から夏にかけて気温が上がりにくくなる要因として最も適切なものを選びなさい。（2025年 神奈川県公立入試 類似）
1. オホーツク海高気圧から吹く冷たく湿った北東風（やませ）の影響を受けるため 2. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した季節風が、奥羽山脈を越えて吹き下ろすため 3. 暖流である日本海海流（対馬海流）の影響で、上昇気流が発生しにくい 4. 赤道付近から北上してくる小笠原高気圧の勢力が、夏の間常に弱まるため
- 問12 日本の気候区分において、冬の降水量（降雪量）が他の時期に比べて多くなる地域があります。この気候の特色をもたらす要因について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2024年 秋田県公立入試 類似）
1. 夏に小笠原気団から吹き出す高温多湿な季節風が、日本海側の山地で上昇気流を発生させるため。 2. 冬にシベリア大陸から吹く北西の季節風が、日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかって上昇するため。 3. 一年を通じて吹く偏西風が、大陸からの乾燥した冷たい空気を運び、山脈を越える際に雪を降らせるため。 4. 冬に太平洋から吹く南東の季節風が、湿った空気を運び、沿岸部の平野に大量の雨を降らせるため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 リアス海岸	起伏の多い山地が海面下に沈む「沈水」という現象によって作られる人目に付きやすい地形です。海岸線が複雑に入り組んでいるため、波が穏やかになりやすく、古くから天然の良港として利用されてきました。
問2	答え 2 周囲の平地よりも標高が高いため、河川などの水源から水を引き上げることが難しかったから。	台地は周囲の平地より一段高い場所に位置しており、標高が高いという特徴があります。稲作には大量の水が必要ですが、低い場所を流れる河川から高い場所にある台地へ水を引く（灌漑する）には、大規模な揚水施設や高度な用水路建設の技術が必要であり、容易ではありませんでした。そのため、水が得にくい台地では、水をあまり必要としない畑作や果樹栽培、あるいは住宅地としての利用が一般的になりました。
問3	答え 3 海から離れる内陸方向へ移動し、かつ、津波が到達しないような標高の高い場所を目的地とする	津波避難の鉄則は「より遠くへ」ではなく「より高くへ」です。たとえば海から距離があっても、標高が低い場所では津波に飲み込まれる危険があります。また、津波は必ずしも引き波から始まるとは限らず、地震後すぐに押し寄せることもあるため、揺れを感じたら即座に、海から離れる内陸の高台を目指して避難を開始しなければなりません。
問4	答え 1 リアス海岸	山地が沈降したり、反対に海面が上昇したりして、以前は陸地だった谷の部分に海水が入り込むことで形成される地形を「沈水海岸」といいます。その代表例がリアス海岸であり、日本では三陸海岸の南部や志摩半島、若狭湾、そして山陰海岸の一部などに、複雑に入り組んだ入江を持つこの地形が見られます。
問5	答え 3 夏と冬の季節風がそれぞれ手前の山脈で遮られ、水分を落とした後の乾燥した空気が流れ込むため、年間を通じて降水量が少ない	中央高地や瀬戸内は、周囲を高い山脈や山地に囲まれています。夏は太平洋からの、冬は日本海からの湿った季節風が吹き込みますが、これらの地域に到達する前に周囲の山々で雨や雪を降らせてしまいます。その結果、山を越えてきた乾燥した空気が流れ込むため、他の地域に比べて年間の降水量が少なく、晴天の日が多くなります。これは日本の地形的要因が気候に与える代表的な例です。
問6	答え 3 扇状地	山間部から平地に出る地点は、急に傾斜が緩やかになる場所です。ここで川が土砂を運ぶ力を失うことで、山地を出口とする扇のような形の堆積地形が作られます。山梨県の甲府盆地などは、この地形が発達していることで有名です。
問7	答え 4 北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかって上昇するため。	冬になるとシベリア高気圧から冷たく乾燥した北西の季節風が吹きます。この風が日本海を渡る際に、対馬暖流の影響で蒸発した水分を大量に蓄えます。水分を含んだ空気が日本列島中央の山脈にぶつかって上昇することで雲が発達し、日本海側に大雪や雨をもたらします。
問8	答え 1 カルデラ	火山の爆発的な噴火によって大量のマグマが地上に放出されると、地下に巨大な空洞が生じます。この空洞が崩落することで、通常の火口よりもはるかに大規模な窪地が形成されます。熊本県の阿蘇山や北海道の屈斜路湖などは、この地形の代表的な例として知られています。
問9	答え 1 鳥取県の日本海側に位置し、冬の季節風の影響を強く受ける境港市	冬（12月～2月）の降水量が突出して多いのは、典型的な日本海側の気候の特徴です。太平洋側の銚子や枕崎は冬に乾燥して降水量が少なくなります。また、釧路は寒冷で年間降水量は少なめです。統計データにある「冬の降水量の多さ」から、日本海側に面した都市を特定することができます。
問10	答え 4 居住地や農耕に適した平地が限られているため、平野部や盆地に人口や都市が集中しやすい。	日本の陸地の約4分の3は山地や丘陵地であり、生活や産業に利用しやすい平地は国土のわずか4分の1程度しかありません。このため、限られた平地である平野や盆地に住宅や工場、商業施設が密集し、高度な土地利用が行われる要因となっています。また、険しい地形は河川の急流を作り出し、水力発電に適する一方で、土砂災害のリスクも生んでいます。
問11	答え 1 オホーツク海高気圧から吹く冷たく湿った北東風（やませ）の影響を受けるため	東北地方の太平洋側では、初夏から夏にかけてオホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東風が吹き込むことがあります。この風の影響で、曇りや霧の日が多くなり、気温が上がらずに冷害を引き起こす原因ともなります。そのため、仙台市などは同緯度の他地域と比較して夏が涼しくなる傾向があります。
問12	答え 2 冬にシベリア大陸から吹く北西の季節風が、日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかって上昇するため。	冬になると大陸側のシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この乾いた風が日本海を渡る際に、対馬海流などの影響で蒸発した水分を大量に含みます。湿った空気が日本の背骨にあたる山脈にぶつかって上昇し、雲が発達することで、日本海側の地域に雪や雨をもたらします。山を越えた風は乾燥し、太平洋側に晴天をもたらすという対照的な現象が起こります。